

民生文教委員会

●平成26年度一般会計歳入歳出決算認定 ～健康づくり推進費～

Q ふくろい発!!茶れんじ健康プロジェクトは、本委員会において、科学的に検証できる体制で取り組むべき等の附帯決議が出された事業であったが、それほど効果が見られない結果となっている。これをどう総括したのか。

A 白茶・黒茶に対する特別な検証ができず、お茶別の成分分析を見てもそれぞれの差は特に認められなかった。しかし、参加者にはお茶を含めた食習慣について理解を深めていただいたり、食生活が重要であるといったことなどを認識してもらったという意味では、事業の実施について効果があったと考える。

●平成26年度一般会計歳入歳出決算認定 ～スポーツ振興費～

Q 全国エアロビック選手権大会に関連して550万円が支出されているが、将来エアロビック競技をどのように進めていくのか。

A 全国エアロビック選手権大会については、地域活性化センターからの補助金が平成26年度をもって終了したが、本市の支援はこれまでと変わらず50万円を補助し、残りは日本エアロビック連盟の助成や各企業団体からの寄附、あるいは参加料により、全国大会として開催しているこの大会を今後も継続していきたい。



全国エアロビック選手権大会

総務委員会

●平成26年度一般会計歳入歳出決算認定 ～企画費～

Q ふるさと納税は、制度の趣旨と違った過大な返礼品争奪が目立つ一方、地方自治体からの情報発信の重要なツールであることも事実である。今後、返礼品のあり方はどのように考えているか。

A 返礼品目当ての納税も目立ってきていることから、制度の転換期ではないかと考えている。企業においてもこの制度を活用する動きもあることから、今年の秋ぐらいから来年度に向けての戦略的な取り組みを検討していきたいと考えている。

●平成26年度一般会計歳入歳出決算認定 ～協働共生推進費～

Q 協働まちづくり事業の実施主体は、NPO法人等でなくとも、事業の趣旨が実現できる組織であればよいのではないかと。厳しい枠を設けず、新たな分野なども設けるなどの制度設計に向け、研究等が必要ではないか。

A 現在の事業は、本年度見直しを行っており、事業採択にあたっての、提案・プレゼンテーション・認定のための資料作成が煩雑でハードルが高いとの意見もあることから、要綱見直しの際、意見を参考としていきたい。また、地域での課題を解決する活動などの新たな分野についても検討していきたい。



協働まちづくり事業公開プレゼンテーション